

## 探訪ユニーク学部

2

### 東京都市大

東京都市大学の知識工学部は2007年に新設された。情報科学科、自然科学科、情報通信工学科(13年4月に情報ネットワーク工学科から名称変更を予定)、経営システム工学科の4学科で構成。学部長の山本尚生教授は「固い『物作り』を学ぶイメージのある工学部に対し、知識や情報といったしなやかな『もの創り』の教育を進めている」と工学部の特徴を説明する。

かつて、情報工学系の知識を学ぶ学科は、工学部内の3学科に分かれていた。しかし、他の学科とでは共通の教育を提供するのが難しく、学部の新設を決めたという。特に情報通信技術(ICT)の分野では、数年でOS(基本ソフト)やコンピューター言語が変わることも珍しくない。目指すのは、そうした技術の変化に対応できる幅広い知識や能力を学生に身に付けさ

▽開設年	2007年
▽学生数	1181人 (13年1月現在)
▽主な授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング</li> <li>・応用プログラミング</li> <li>・野外調査法及び実習</li> <li>・情報通信工学演習及び実験</li> <li>・グローバル社会における経営</li> </ul>

### 知識工学部

## ICTの知識、幅広く

せることだ。

入学後1年半は基礎的な科目やプログラミング技術を徹底教育。その後、専門の教育科目に移り、講義と実習を合わせた授業を数多く用意する。例えば、コンピューターネットワーク技術を学ぶ「情報通信工学演習及び実験(旧情報ネットワーク工学演習及び実験)」の授業では座学に加え、OPENET(オープンネット)と呼ぶ企業でも使われているネットワークシミュレーターを使用。ネットワークの仕組みや通信プロトコルについての理解を促す。

講義だけでは技術を説明してもピンとこない学生が多い。山本教授は「シミュレーターの画面上でパケット(デジタル情報のまとまり)の動き方を見ることによって、システム内で起きていることを直感的に分かるようになる」と話す。

学生の就職先をみると、学科によって違いはあるもののICT関連の企業が5〜7割を占める。「学生は大学で学んだ知識を実社会で試したいという目的意識がはっきりしている」と山本教授。「いつまでも知識欲を持ち続け、企業で活躍できる技術者を輩出した」と強調していた。

(日経キャリアマガジン編集長 町田真寿)

●この記事・写真等は日本経済新聞社、日経HRの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

東京都市大学グループ  
学校法人 五島育英会